

質問； 投手が注意しなければならないことを教えてください。

回答； ルールはいろいろありますが、審判員がよく注意・指導していることを参考に、注意しなければならないことの一部を紹介します。

○投手板を踏むときは、本塁に正対し、両手を必ず離して両足を投手板に触れていること。球は、手に持っても、グラブの中に入れていても構いません。

○投球動作に入るときは、身体の前または横で球を両手で持ち、2秒以上、5秒以内 身体を完全に停止すること。

※この指導が一番多いです。必ず2秒以上止める必要があります。一連の流れ的に投球されるケースが多いですが、不正投球です。

○投球動作をする際、軸足は投手板に触れていること。投球する前は両足を投手板に触れているが、投球動作に入るとき、軸足を投手板の前あるいは後ろに外し、その地点を蹴って投球するのは不正投球です。

これらをしっかり行うことで、多くの不正投球はなくなります。

#### 【ここからは上級者向けです】

前記の内容は基本形ですが、次の投球方法も認められています。

○軸足が投手板に触れたままであれば、投手板上をスライドさせても構いません。但し、このとき、スライドさせる際、投手板から離れた場合は不正投球となります。

○投手板から蹴り出していれば、軸足を引きずったり、跳んだりして着地し、投球しても構いません。\_\_\_\_\_部分がポイントで、条件です。

#### 【不正投球を宣告された際のペナルティ】

○打者が不正投球を打たなかった場合

打者に対してワンボールが宣告され、各走者に1個の安全進塁権が与えられます。

○打者が不正投球を打った場合

攻撃側の監督にプレイの結果を生かすか、不正投球をとるかの選択権が与えられます。不正投球を選択した場合は、上記のペナルティを適用します。

※

打者が不正投球を打ち、打者および各走者が一個以上進塁した場合は、不正投球はなかったこととなります。